

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【公開番号】特開2015-47193(P2015-47193A)

【公開日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-017

【出願番号】特願2013-178885(P2013-178885)

【国際特許分類】

A 6 1 H 1/02 (2006.01)

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

【F I】

A 6 1 H 1/02 K

G 0 6 T 19/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月29日(2016.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リハビリテーションを実行する患者の体の動きを検出する動き検出部と、

リハビリテーションで要求される体の動きを企図し、前記動き検出部が検出した体の動きを認知し、その認知した体の動きと前記企図したリハビリテーションで要求される体の動きに基づいて身体表現を演算することで、患者の脳内で得られる身体表現を仮想的に生成する演算処理部と、

前記演算処理部が生成した身体表現で決まる体の状態を画像化する画像生成部と、

前記画像生成部が生成した画像を表示する表示部とを備えた

リハビリテーション支援装置。

【請求項2】

前記演算処理部は、リハビリテーションを実行する患者が失った体の部位の動きを含めた身体表現を仮想的に生成し、前記画像生成部が、患者が失った体の部位を含めた体の状態を画像化する

請求項1に記載のリハビリテーション支援装置。

【請求項3】

前記演算処理部は、前記動き検出部が検出した体の動きと、画像生成部が生成した画像中の体の動きとのずれを算出し、算出したずれの程度に基づいて、リハビリテーションの進展状態を判断する

請求項1又は2に記載のリハビリテーション支援装置。

【請求項4】

リハビリテーションの進展状態の判断に基づいて、患者に要求する体の動きを決める

請求項3に記載のリハビリテーション支援装置。

【請求項5】

前記患者のリハビリテーションを実行する実在又は存在しない体の部位と、脳とを接続する神経の状態を検出するセンサを備え、

前記演算処理部は、前記センサの検出状態に基づいて仮想的に生成する身体表現の補正を行う

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のリハビリテーション支援装置。

【請求項 6】

リハビリテーションを実行する患者の体の動きを検出する動き検出処理と、

リハビリテーションで要求される体の動きを企図し、前記動き検出処理で検出した体の動きを認知し、その認知した体の動きと前記企図したリハビリテーションで要求される体の動きに基づいて身体表現を演算することで、患者の脳内で得られる身体表現を仮想的に生成する仮想身体表現生成処理と、

前記仮想身体表現生成処理で生成した身体表現で決まる体の状態を画像化して、患者に提示する画像を生成する画像処理とを含む

リハビリテーション支援方法。